

まちづくり応援基金

運用事業レポート

全国各地の皆さまからお寄せいただいた応援寄附金は、まちづくり応援基金に積立し、南富良野町のまちづくりに活用させていただいております。

☆瑞々しい自然のまちづくり事業



「イトウの保護管理に関する事業」

町内かなやま湖及び空知川水系に生息している淡水魚のイトウは、国が定めている絶滅危惧生物として指定されており、南富良野町では自然環境の保全のため、平成21年4月イトウ保護管理条例を制定し、種の保存の重要性と保護区の広報に力を入れております。

町を訪れる人にも広く理解を呼びかけるため、国道沿いの「道の駅」に設置されているイトウ・ニジマス等が泳ぐ大型水槽サイドに、インフォメーションサインを作製設置しました。



「庁用車搭載拡声器購入事業」

現場作業車や災害時の広報用に、避難や災害情報などの広報を実施する庁用車に搭載する拡声器を整備しました。

「防災用液晶テレビ、防災電話回線整備事業」

災害時にリアルタイムの情報収集や、災害対策本部に液晶テレビなどの機器を導入し、防災用の専用回線を整備いたしました。



☆健やかな福祉のまちづくり事業



「老人憩の家・放課後児童クラブ施設整備事業」

テレビ放送の地上デジタル化に伴い、町内各地区の老人クラブ活動等の拠点となる老人憩の家（4か所）と、放課後児童クラブ室のテレビを更新いたしました。これにより、ハイビジョンの高精細度な放送を見ることができるようになりました。



「保育所備品整備事業」

町立保育所では0歳児から年長さんまで51名の子どもたちが元気に通って来ています。毎日の生活や季節ごとの行事などを通し、子どもたちの人間関係や情緒教育のための保育に活用する備品を整備しています。



「保育所改築に伴う備品整備事業」



平成27年に金山保育所、平成29年に幾寅保育所を改築したことに伴い、保育所や子育て支援センターで園児が使用する椅子や遊具を整備いたしました。

☆学び楽しむ文化のまちづくり事業

「文化財用具整備事業」



郷土民芸である「幾寅獅子舞」は、昭和40年南富良野町無形文化財に指定されており、その歴史は、富山県のいわゆる越中獅子を源流とするもので明治36年に発起結成以来今日まで、保存会を中心に有志、小中高の子どもたちにより継承されてきています。

「小中高連携教育支援事業」

南富良野町を代表するスポーツとなった「カヌー・カーリング」にもっと親しんでもらうよう各学校の授業へ講師を派遣、競技スポーツとして取り組む児童生徒の輩出に取り組んでいます。



「体育設備・公民館施設整備事業」

南富良野町ではカーリングが盛んに行われており、トリノ、バンクーバーと連続でオリンピック選手を送り出しております。

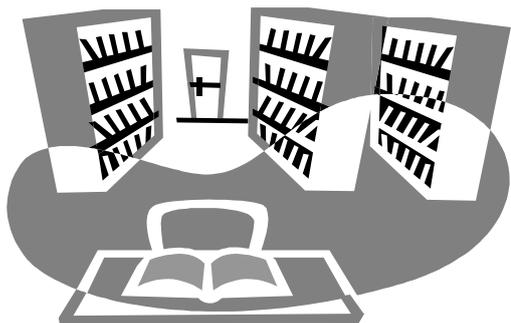
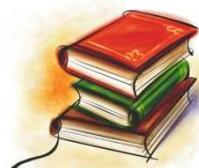
季節、年齢を問わず楽しめるよう、町民体育館や公民館各分館にもフローカーリングのセットを購入整備、気軽にカーリングが体験できるようになりました。



「小中学校図書等整備事業」

「学校図書室システム書架整備事業」

児童・生徒の「自ら学ぶ力」や「情報活用能力」、そして心の豊かさを育てる役割を担う学校図書の整備として、町内5地区の小学校と南富良野中学校の図書購入と、落合小学校図書室の本棚の更新を行いました。



「公民館施設備品整備事業」

本館図書室には、図書用ラックなど更新し、幼児から年配者まで幅広く利用していただけるよう環境の整備をしています。



「南富良野高校カヌー整備事業」



南富良野高校のカヌー部にカヌー3艇やパドルなどの備品を購入しました。

シーズン中は南富良野町にある「かなやま湖」で部活動をしており日々汗を流しております。



☆安全・安心・快適なまちづくり事業

「防災情報ホームページ作成事業」「災害対策備品購入事業」

平成28年に発生した災害を教訓として、災害や防災などの情報発信を目的として防災情報ホームページを作成するほか、避難所備品や非常食の整備など災害時の防災備蓄品を整備しました。

